

本学のURA組織・活動の当面の方針

平成27年3月9日
研究推進機構

1. 本学のURAの主な業務

文部科学省が東京大学に委託して取りまとめた報告書「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備（スキル標準の作成）成果報告書」に示されているURAの標準的な業務に対し、本学におけるURAの業務として行うものは、以下の表の●印で示した業務とする。

URA業務一覧	本学
(1) 研究戦略推進支援業務	
① 政策情報等の調査分析	●
② 研究力の調査分析	●
③ 研究戦略策定	●
(2) プレアワード業務	
① 研究プロジェクト企画立案支援	●
② 外部資金情報収集	●
③ 研究プロジェクト企画のための内部折衝活動	●
④ 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	●
⑤ 申請資料作成支援	●
(3) ポストアワード業務	
① 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	●
② プロジェクトの進捗管理	●
③ プロジェクトの予算管理	●
④ プロジェクト評価対応関連	●
⑤ 報告書作成	●
(4) 関連専門業務	
① 教育プロジェクト支援	●
② 国際連携支援	●
③ 産学連携支援	●
④ 知財関連	●
⑤ 研究機関としての発信力強化推進	●
⑥ 研究広報関連	●
⑦ イベント開催関連	●
⑧ 安全管理関連	●
⑨ 倫理・コンプライアンス関連	●

2. URA教職員の位置づけ

研究推進機構によりURAに指名されたものが、教員または事務職員としてのそれぞれの職責の中でURA業務を行う。なお、URA業務が主たる業務であるものを専任URA、それ以外を兼任URAとする。

3. URAの待遇

現状の給与体系によることとし、URAのための新たな給与体系は当面検討しない。

なお、URAの業務能力向上に必要な書籍費や研修への参加経費等は、研究推進機構及び研究推進課において確保することとする。

4. URAの教職員数

当面、現状程度の人数とする。

(参考) 本学のURAの現状人員

URA教員 専任3 客員3 (すべて専任)

URA事務職員 12 (うち、専任4)

5. URA事務職員の能動的活動を促す仕組みの構築

事務職員が、外部資金獲得の企画を能動的に行える仕組みを目指す。

6. URAの人材育成目標

専任URAについては、将来的に、岩手大学の研究戦略策定や外部資金獲得戦略策定に関し、中心的にマネジメントできる人材として育成していくことを目指す。なお、事務職員については、人事ローテーションがあることから、本人の意向も考慮する。

7. 全学的なURA体制のあり方の検討

本方針は、URA体制についての当面の方針をまとめたものであるが、将来的に、URAを全学的にどのように位置づけるか、URAのために新たな給与体系を整備すべきか等については、引き続き、研究推進機構において検討を継続するとともに、必要に応じて全学レベルでの検討を企画していくこととする。